



株式会社間宮堂(大正時代頃)



上:マミヤシックス 下:マミヤスーパー16

古写真の 魅力と マミヤ写真館

-大仁の発明家たち-

解説 実業家の間宮勝三郎と
カメラを作った間宮精一
解説:萩野さおり(市学芸員)

講演1. 秘蔵されていた乾板写真
震災を乗り越えた三嶋大社の軌跡
2. 幕末・明治 写真館のはじまり
講師:井桜直美(日本カメラ博物館 古写真研究員)

日時

令和7年 **9月27日** (13時 開場) **土** 13時30分~15時30分

会場

東芝テック株式会社 静岡事業所(大仁) 大会議室(静岡県伊豆の国市大仁570)

定員

100名(予約不要・先着順・入場無料) 駐車場あり

アクセス

電車:伊豆箱根鉄道大仁駅から徒歩5分
自動車:国道136号 大仁南IC交差点を南東方向に曲がり、
約100m進むと駐車場の入口がございます。

古写真の面白さや鑑賞のしかたについて、日本カメラ博物館の古写真研究員で、貴重な古写真を収集・研究している井桜直美氏にお話しいただきます。

実業家・発明家の間宮勝三郎は、金銭登録機(レジスター)で有名な株式会社間宮堂を設立するなど、当時の産業に影響を与えました。その子息で、大仁で生まれた間宮精一は数々のカメラを開発し、彼が設立したマミヤ光機製作所は昭和初期の国産カメラメーカーとして多くのファンに愛されました。その後も間宮家の子孫は、マミヤ写真館として大仁の街中でその名を残し続けました。

今回の文化財市民講座は、間宮勝三郎が設立した間宮堂を前身とする、東芝テック株式会社静岡事業所(大仁)様の大会議室を特別にお借りして開催します。

会場周辺地図



詳しくはこちら
(市HP)

